



昭和 40 年度

育林作業技術の近代化
とくに合理的短期育成林業技術の確立
に関する試験
経過報告

昭和 41 年 3 月



02000-00377835-2

林野庁
林業試験場

試
5

P. 22 つぎのとおり訂正する。

* 調査年月 第2回 40・11

提 支 場	担当 當林署	立 地	プロット 符 号	39.			4			41.			1	
				樹 高 cm	伸長量 cm	根元直徑 cm	樹 高 cm	伸長量 cm	根元直徑 cm					
九	菊 地 クモト オシ	阿蘇熔岩 NE/20~25	1 A I	2.3~9.6 6.3	1.9.4	0.8~1.8 1.1	7.5~165 122	2.9.6	1.1~3.0 1.7					
			1 A II	2.3~9.4 4.8	1.7.2	0.4~1.6 1.0	4.6~189 117	2.7.8	0.6~2.9 1.6					
		標高 700m B _D	1 B I	2.3~8.0 5.2	1.8.7	0.5~1.5 1.0	6.0~176 120	3.1.9	0.9~2.7 1.9					
			1 B II	2.1~9.0 5.8	2.4.4	0.6~1.6 1.1	4.6~181 127	2.7.6	0.9~3.0 1.9					
	玖 珠 クモト オシ	火山灰 SW/10	2 A I	5.0~13.0 7.5	1.7.2	0.6~1.7 1.0	9.0~183 124	3.7.6	1.0~3.2 1.9					
			2 A II	4.7~12.2 5.8	2.4.4	0.8~1.9 1.1	6.5~194 134	4.8.8	0.8~3.0 2.0					
		標高 900m B _D	2 B I	4.0~12.2 5.3	1.9.4	0.7~1.7 1.1	7.1~202 144	6.2.1	0.7~3.2 2.0					
			2 B II	4.3~10.8 5.2	1.8.7	0.5~1.6 1.0	5.9~160 117	4.7.2	0.8~2.6 1.6					
州	中 津 ヤブクリ	安山岩 N/20~30	1 A I	2.1~6.7 4.7	2.0.7	0.5~1.0 0.7	7.2~147 116	3.7.3	1.1~3.1 2.2					
			1 A II	2.3~6.2 4.6	2.0.1	0.5~1.1 0.7	4.8~128 98	3.1.7	1.0~3.0 2.0					
		標高 870m B _D 定積	1 B I	2.0~7.2 4.8	2.1.0	0.4~1.2 0.7	6.8~145 111	3.7.8	1.2~2.6 2.1					
			1 B II	2.5~6.2 5.0	2.1.9	0.5~1.3 0.7	7.5~167 128	3.9.0	1.4~4.4 2.4					
		安山岩 N/10	2 A I	2.5~6.8 4.7	2.0.7	0.5~1.2 0.8	5.9~149 106	3.5.7	1.0~3.0 1.9					
			2 A II	2.8~6.8 4.5	2.0.6	0.4~1.2 0.8	6.7~148 105	3.3.1	1.1~3.5 2.2					
	宮 崎 オビアカ	標高 900m B _D (d)	2 B I	2.4~6.8 5.1	2.4.5	0.5~1.2 0.8	7.0~134 96	2.8.5	1.0~2.9 1.7					
			2 B II	2.4~5.8 4.2	1.9.2	0.4~1.1 0.7	7.1~139 106	3.3.7	1.2~3.1 2.1					
		第三紀火山灰 N/5	1 A I	1.5~7.1 5.2	1.6.1	0.6~1.2 0.8	5.0~160 99	2.3.8	0.7~2.8 1.6					
			1 A II	3.5~8.0 5.0	1.3.5	0.6~1.2 0.8	4.0~160 95	2.5.2	0.7~3.1 1.4					
		標高 550m B _D 崩積	1 B I	1.5~7.4 5.1	1.4.7	0.6~1.1 0.8	5.0~150 88	1.8.3	0.8~2.8 1.4					
			1 B II	3.4~7.5 5.2	1.1.5	0.6~1.2 0.9	6.0~150 107	3.4.7	0.7~3.3 1.8					
飫 肥 オビアカ	第三紀砂岩 E/10	2 A I	3.5~7.7 5.7	2.2.6	0.6~1.1 0.8	6.0~220 143	5.1.7	1.2~5.4 3.1						
		2 A II	3.0~6.9 4.9	1.8.1	0.6~1.2 0.8	6.0~190 132	5.0.0	1.0~4.5 2.7						
	標高 600m B _D 崩積	2 B I	4.1~7.7 5.5	2.1.8	0.7~1.2 0.8	9.0~200 143	4.1.4	1.1~4.9 2.9						
		2 B II	2.7~8.6 5.0	1.8.1	0.5~1.2 0.8	8.0~210 129	4.4.2	0.7~4.9 2.2						

P48~49 九州支場担当の項をつきのとおり訂正する。

担当本支場	担当	立地	プロット 符号	39. 3			40. 11		
				樹高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm	樹高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm
九 州	日田 ウラセ バル	雲母片岩 W/5	1 A I	2.4~8.0 6.3	6.5	0.5~1.6 0.8	4.2~183 103	2.80	0.7~5.7 1.7
			1 A II	3.0~9.7 5.5	16.1	0.5~1.2 0.8	5.0~170 100	2.50	1.2~3.8 1.9
		標高 500m BD 崩積	1 B I	3.0~7.8 5.2	7.3	0.4~1.2 0.8	6.0~154 100	2.47	1.1~2.7 1.8
			1 B II	4.0~8.7 5.6	9.9	0.4~1.2 0.8	7.2~175 110	2.95	0.9~3.2 1.9
	雲母片岩 W/15~20	雲母片岩 W/15~20	2 A I	3.0~7.5 5.3	10.2	0.5~1.2 0.7	5.0~143 8.8	15.9	0.8~3.0 1.6
			2 A II	3.8~7.5 5.5	12.0	0.5~1.1 0.7	4.0~160 105	18.9	0.6~3.1 1.5
		標高 500m BD (a)	2 B I	3.5~8.4 5.5	9.8	0.5~1.1 0.7	4.4~155 9.9	21.2	0.6~3.3 1.6
			2 B II	3.5~7.0 5.3	10.7	0.5~1.2 0.7	5.0~124 8.7	12.5	0.6~3.2 1.4

担当本支場	担当	立地	プロット 符号	39. 11			40. 11			備考
				樹高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm	樹高 cm	伸長量 cm	胸高直径 cm	
九 州	長崎	安山岩 S/15	1 A I	5.0~260 128			0.7~3.3 1.7	5.0~400 245		0.5~4.8 2.9
			1 A II	3.0~220 127			0.5~3.0 1.7	6.0~410 270		0.7~5.5 3.0
		標高 90m BD(a)-BC	1 B I	3.0~280 136			0.4~3.6 1.9	5.0~400 255		0.6~5.7 2.9
			1 B II	3.0~240 133			0.5~3.1 1.7	6.0~400 244		0.5~5.0 2.8
	高岡	中生層 火山灰 NW/20	1 A I	3.0~300 130			0.3~3.5 1.3	220~500 341		0.7~5.3 2.8
			1 A II	3.0~320 113			0.3~3.5 1.2	140~520 288		0.5~5.0 2.2
		標高 200m BD (W)	1 B I	4.0~350 124			0.3~3.3 1.3	180~550 369		1.0~7.2 3.1
			1 B II	3.0~310 112			0.5~3.4 1.0	150~500 333		0.8~5.2 2.7
	川内	安山岩 E/20	1 A I	5.0~290 168			0.8~4.0 2.3	130~450 348		0.9~4.5 2.7
			1 A II	5.5~230 155			0.9~4.0 2.1	170~500 330		0.5~5.2 2.5
		標高 150m BC	1 B I	4.0~260 179			0.6~4.0 2.4	130~450 380		0.3~5.0 3.1
			1 B II	5.0~250 146			0.9~3.0 1.9	180~480 328		0.6~4.8 2.4
	鹿児島	中生層 火山灰 E/20	1 A I	3.0~205 130			0.8~3.5 1.8	180~480 358		2.3~9.8 5.6
			1 A II	8.0~190 128			1.0~3.3 1.8	8.0~460 289		1.2~8.6 4.9
		標高 350m BC	1 B I	3.0~210 141			0.5~4.6 1.9	100~420 272		1.3~7.3 4.6
			1 B II	8.0~270 169			1.0~4.0 2.2	8.0~380 258		1.2~6.8 4.5

担当本支場	担当	立地	プロット 符号	41. 1		
				樹高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm
九 州	鹿屋 ハライワ	花崗岩 N/10	1 A I	5.1~140 9.7	25.6	0.6~3.6 1.6
			1 A II	5.0~138 9.8	25.8	0.4~2.5 1.3
		標高 450m BD	1 B I	5.2~161 10.6	27.2	0.7~2.2 1.5
			1 B II	4.8~173 8.6	21.2	0.4~3.5 1.2
	鹿屋 キジン	" "	1 A I	4.5~215 11.5	32.6	0.7~5.0 1.6
			1 A II	5.2~183 11.7	32.6	0.6~3.4 1.7
		" "	1 B I	5.5~152 12.0	45.0	0.6~2.5 1.8
			1 B II	6.8~209 15.5	50.5	0.7~4.5 2.7

註 昭和38年1~2月の異常寒波により苗木掘り取り前後に軽度の寒害をうけ、山地植栽後の寒波及び異常乾燥により
キジンスキ 1 A Iと1 B I プロットは昭和39年3月に改植
1 A IIと1 B II プロットは40%の補植をおこなった。

担当本支場	担当	立地	プロット 符号	40. 2			40. 11			備考
				樹高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm	樹高 cm	伸長量 cm	胸高直径 cm	
九 州	水俣	安山岩 SE/10	1 A I	8.0~310 210			1.0~5.1 3.0	100~450 326		0.3~5.0 2.9
			1 A II	12.0~370 230			1.0~6.0 3.5	200~500 355		1.0~5.0 3.1
		標高 220m BC	1 B I	8.0~400 220			1.3~5.0 3.5	120~450 315		0.5~5.0 2.9
			1 B II	7.0~370 220			1.0~5.4 3.2	100~500 343		0.8~5.5 7.1

指掌者	担当 官林署	立地	プロジェクト 符号	3.9.			4.0.			4.0.			4.1			備考
				樹高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm	樹高 cm	伸長量 cm	胸高直径 cm	樹高 cm	伸長量 cm	胸高直径 cm	樹高 cm	伸長量 cm	胸高直径 cm	
九	水俣 山安 NW~SE/10 標高30~70m BC	岩 1 A I 1 A II 1 B I	5.0~500 160 5.0~370 220 5.0~390 210	0.0~3.5 2.0 0.5~4.3 2.2 0.4~5.1 2.5	300~650 460 300~700 520 250~780 550	2.5~6.7 4.4 2.0~7.7 4.8 1.1~8.5 4.9	200~800 574 300~110 645 250~900 679	2.5~100 6.0 2.3~105 6.7 2.2~9.5 6.0	3.8.5 植栽							
			1 B II	8.0~500 200	0.6~4.4 2.5	320~690 470	1.8~7.5 4.7	320~900 590	1.8~7.5 4.7	320~900 590	1.8~7.5 4.7	320~900 590	1.8~7.5 4.7	320~900 590	1.8~7.5 4.7	3.9.3 植栽
			1 A I 147	0.6~2.6 1.4	180~400 352	0.5~4.8 3.2	1.7~7.4 4.5	3.9.3 植栽								
		S/15 標高90m BD (I) ~ BC	4.0~500 170	0.6~4.6 2.0	200~700 462	1.7~7.4 4.5	1.2~6.6 4.3	3.9.1 第1回								
			1 B I 182	0.7~2.9 1.9	220~580 440	1.2~6.6 4.3	3.9.1 第2回									
			1 B II 181	0.9~3.5 2.0	300~650 462	1.2~6.6 4.3	3.9.1 第2回									
州	高岡 中火 NW/20 標高200m B D (W)	層 1 A I 125	0.5~3.5 1.5	200~500 345	0.8~5.2 2.7	0.8~5.2 2.7	0.8~5.2 2.0	3.9.3 植栽								
			1 A II 117	0.5~4.0 1.3	150~500 290	0.5~4.8 2.0	3.9.1 第1回									
		1 B I 120	0.3~4.70 1.4	190~550 379	0.8~5.5 2.6	3.9.1 第2回										
			1 B II 183	0.5~4.8 2.2	270~550 399	1.5~6.0 3.5	3.9.1 第2回									

育林作業技術の近代化
とくに合理的短期育成林業技術の確立に関する試験

昭和40年度経過報告

まえがき

近年の著しい産業の成長は、農林漁業の近代化への脱皮を強く要求してきた。林業がその道を歩むには多くの障害があるが、なかでも生産期間の長いことが一つの大きな「あしかせ」となっている。しかし、経済的、自然的立地条件と經營要素が短期育成林業の成立条件を満足させる地域も相当広いものと考えられる。このため、これらの地域において短期育成林業を經營するために必要な樹種、品種の選定、合理的施肥法、植穴耕うん植栽、保育、被害防除等に関する諸技術を総合して、一連の技術体系を確立することが必要である。

この試験は、上記の見地から、現下の林業の要望に応えるため計画され、昭和37年度より農林水産技術振興費と国有林野事業費とにより、全国14管林局、関係管林署、林業試験場本・支・分場共同により開始された。この小冊子は、この試験の昭和40年度までの経過のあらましをとりまとめたものである。

1. 試験計画

本試験は、現時点で考えられる最も合理的な育林諸技術を投入したばあい、ある地域でどの位の収穫量を期待しうるかをつかむことを狙いとして、以下のような計画のもとに、短期育成の指針を得るために技術の総合的検討の場とすべく実施された。

(1) 対象樹種 針葉樹は（短期育成用品種としてクモトオシほか7品種）アカマツ（ツシママツ他3産地）カラマツ、広葉樹はアカシア類（フサアカシア、モリシマアカシア）、コバノヤマハンノキ

(2) 試験地の配置

スギ：各品種の植栽中心地と目される地域で立地別に1～2カ所

アカマツ：各系統の産地で立地別に2～3カ所

カラマツ：造林地の多い長野、東北、北海道で夫々立地別に2～3カ所

アカシア酸：フサアカシアとモリシマアカシアの2種について、前者は気候上から林業としての成育が可能と思われる東海地方の掛川を北限として、それより九州まで、後者は四国、九州地区に限り、夫々地質母材を勘案して立地別に1～2カ所

コバノヤマハンノキ：中心郷土である青森、岩手両県下を中心とし、北海道ではクリの天然分布の北限まで、西は中国の三次までとし、夫々立地別に1～3カ所

(3) 造林技術の組合せ

植栽密度：疎、密の2種類

施肥：基肥・追肥

植穴耕うん：穴堀機による植穴堀り

間伐：量的生産最大を主体とした間伐のすすめ方（残存密度、

間伐開始期、繰り返し）

2. 結果の概要

昭和39年度までで49の全試験地の造成を終了した。試験地の成長・環境・保護調査は植栽後毎年実行し、40年度までにすでに3回目の成長調査が終了しているところもある。これまでに得られた樹種毎の成長結果は以下のとおりである。

(1) スギ

九州においては、試験対象品種が多いにもかかわらず各試験地とも大体順調に生育しているが、関西のトミススキ試験地は種々の事情から好適な試験地を求めることができなかつたために期待したほどの成長は示していない。関東のクマノスギについては、若干、立地条件が最適でないため、ジスギとの成長差が顕著でない。

(2) アカマツ

全体を通じてまだ立地別に歴然たる差は見出しがたいが、東北の岩手試験地では、直径樹高とも南斜面が北斜面より若干ではあるが大きい。関東の平試験地では、予想に反して平坦な $B\ell D$ 型土壤の第3試験地が、 $B\ell(d)$ $B\ell D(d)$ 土壤の第1、第2試験地よりも成長がかんぱしくないことが注目される。

なお、岩手試験地の周辺の普通施業地における無施肥、機械1穴堀植栽の同じ年に植栽したものと、植栽本数、立地条件の似た所を比較すると、試験地のものが樹高において10cm、根元径において8mm大きく、施肥、植穴の大きさのちがいが成長の差となつてあらわれている。又平試験地の外周の無施肥区と試験地調査区との平均値の比較は次表のとおりで、外周木を100とした比数でみると、第3試験地を除けば、とくに根元直徑の肥効は顕著である。

プロ ツト	樹 高 cm		根 元 直 径 mm	
	調 査 区	外 囲 木	調 査 区	外 囲 木
1 A	133.3(141)	94.8(100)	43.4(134)	32.3(100)
1 B	124.5(144)	86.4(100)	35.6(127)	27.9(100)
2A I	99.2(111)	88.9(100)	36.7(125)	29.3(100)
2A II	108.0(116)	93.2(100)	39.4(133)	29.5(100)
2B I	105.9(127)	83.3(100)	36.0(134)	26.8(100)
2B II	110.9(121)	91.1(100)	38.2(137)	27.9(100)
3 A	104.8(112)	93.6(100)	32.7(112)	29.1(100)
3 B	99.8(100)	99.7(100)	32.4(114)	28.4(100)

(3) カラマツ

北海道の試験地は全般的に、一般造林地にくらべ秋おそらくまで成長を続けるため、早霜の害がみうけられるので、施肥と成長期間の延長、さらにそれが寒さに与える影響について検討が必要であり、施肥については使用肥料の組成、施肥方法についても検討が必要である。東北の盛岡試験地では40年10月に調査した全体の平均樹高は124cmで、連年成長量は40年平均31cm、3年間の累計では平均77cmであつて、外周の無施肥木に比較してやゝ良好であるが、植栽後3年目の伸長量にしては大きい値でない。長野の岩村田試験地は、昭和38年植栽を実施して以来一般造林地にくらべると特段の成長をしていたが、39年5月27日の晩霜で激害をうけ、第2試験地は全面改植のやむなきにいたり、第1試験地は20%程度の補植と、被害木の整枝剪定を実行することにより現試験地を維持した結果、残存被害木は大部分正常な樹型となつた。

(4) コバノヤマハンノキ

関東の平、中之条、沼津および関西の龜山、三次試験地における虫害の問題をのぞけば、全試験地とも成長は良好で、密植区はすでに閉鎖が始まり、本数密度による差異が認められ、密植区が伸長・肥大成長とも良好な生育を示しつつあり、寒風害の被害も比較的少い。積雪量の多い真室川、新発田試験地で予想された雪害もいまのところない。また、北海道では試験地林分内に広葉樹とくにウダイカンパの侵入が極めて多く、これの除伐をどうするかが問題となりつつある。富士山麓の沼津試験地は、標高1200~1400mと高い関係もあり、寒さの害、虫による害等で年々枯損が烈しく、成長量も期待したほど伸びていないが、局部的にはかなり成長したところもみられるのでいましばらく経過を観察したい。長野試験地は、39年6月調査のとき、苗木の輸送上の取扱いによると考えられる枯損が、第1試験地で36%、第2試験地で74%生じたので、40年に第1試験地は一部第2試験地は全面改植を実施した。以後の生育は第1試験地は順調であるが、第2試験地は、群状に枯損を生じたので、集団的に残存しているところを選んで、参考区として今後の生育をみていただきたい。

なお、肥効が顕著である実例として、宮古試験地と、平試験地で、隣接地に設定した施肥、無施肥の測定結果を次に示す。

宮古試験地（無施肥を100として比数で示す）

プロツク	無 施 肥 区	2BI	2AI	1BI	1AI	2AII	2BII	1AII	1BII
樹 高 比	100	123	132	133	135	123	145	137	135
直 径 比	100	131	138	138	146	150	154	146	131

平試験地

	39. 11調		40. 10調		
	樹 高 cm	根元径 cm	樹 高 cm	根元径 cm	胸高径 cm
B D 施肥	239(116)	2.9(138)	386(144)	6.0(214)	3.9(278)
	無肥料	205(100)	2.1(100)	268(100)	2.8(100)
B D-E 施肥	263(123)	3.1(134)	402(151)	5.6(164)	3.7(217)
	無肥料	213(100)	2.3(100)	267(100)	3.4(100)

(5) アカシア類

北限地の掛川は生育旺盛で、密植区は完全うつべいし、台風23. 24号による風倒も軽微で調査に生育している。岡崎試験地は、苗畑での炭疽病に罹病しているものがあつたため、活着が悪く、活着後も雑草灌木の萌芽による被圧が影響し、生長が不揃いとなつて、植栽密度のちがいによる生長の差を求めることがむづかしいと考えられるプロットが生じるにいたつた。関西の高野試験地は40年9月の台風23. 24号およびその後の強風によつて、A I区B I区が約50%の風倒木を生じたため試験対象から除外した。又岡山試験地は40年6月の調査の結果、39年3月植栽の活着生存木の約70%が凍害により枯死したので、本試験地はフサアカシアの適地範囲を越えていると思われる所以、不成績原因を究明するための試験を行なつたうえで本試験を終了させたい。九州、四国のアカシア類は、活着後の造林木の生育はよく、十分成林が期待できる。たゞ九州の水俣試験地では、台風による共倒れを生じ、ピニールテープで引起し作業を実施したところ、おおむねとの状態に回復しつゝあるが、風倒に対する防護としての育林上の手段、風倒後の処置とその後の生長に及ぼす影響等については、今後検討しなければならないものと考える。

なお、岡崎試験地において、隣接する外周の無施肥区との比較は次表のとおりで、初期の施肥の必要性が確認された。

個 所	処 理	樹 高 cm	根元直径 cm
1	試 験 区	3 3 2	5. 1
	無 施 肥	1 5 7	1. 8
2	試 験 区	3 1 2	4. 8
	無 施 肥	1 6 6	2. 0
3	試 験 区	3 1 9	4. 7
	無 施 肥	2 1 6	2. 3

(6) こんごの問題点

第3回目からの施肥量は、各試験地とも成長状態も異つてきているので、一律に決めるべきものでなく、林木の成育状態に応じて各試験地毎に決めることにした。施肥量の算出方法は、満2年目の施肥木と無施肥木の1本あたりの窒素含有量、或は乾物重量を実測し、それから3年目、6年目の値を推定して、施肥と無施肥木の差から、施肥木の窒素の天然供給量を対照木の何倍にするかを判断した修正値を控除し、これに吸収率、有効循環率をかけて算出する。

間伐については、量的生産最大をねらうことを主体として、間伐期は、予め推定したその試験地の樹高成長曲線、林分密度管理図などから、間伐期の樹高をまえもつて決めることとし、各樹種毎の間伐の基準表を作成することになつた。

被害防除として、コバノヤマハンノキの虫害がどの程度にとどまるかが成林のかぎとみられるので、今後の注意が必要であるとともに、害虫防除対策をたてる必要がある。

以上の結果は、39年11月30日～12月3日にわたる九州支場内でおこなわれた現地協議会および本年2月に開かれた担当官会議での討議から得られたものである。

3. 試験地一覧および植栽年月

担当 本支 場	地 名				林 小 班	試 験 地 番 号	地 形	
	樹 種	當 林 局	當 林 署	國 有 林			地	形
北 海 道 支 場	カ ラ マ ツ	北 見	清 里	107 は 108 ほ	第 1	火山山麓台地		
		旭 川	上 川	139 ろ 〃	第 1 2	山麓中腹急斜面 〃		
		帶 茶	標 茶	1 〃	第 1 2	火山山麓 〃		
		清 水	清 水	101 ろ 〃	第 1 2	山麓急斜面 〃		
	コ バ ノ ヤ マ ハ ン ノ キ	旭 川	留 萌	19 にほへ 19 にほ	第 1 2	河岸段丘平坦面 河岸段丘凸斜面		
		札 幌	札 幌	38 い 50 ろ	第 1 2	洪積台地 〃		
		厚 賀	厚 賀	167 ろ 74 い	第 1 2	新第三紀丘陵 洪積台地		
		白 老	白 老	244 い 26 り 69 ほ	第 1 2 3	火山性台地 新第三紀丘陵 〃		
		函 館	長 万 部	21 と 〃	第 1 2	河岸段丘 第三紀丘陵凸斜面		
		木 枯 内	木 枯 内	106 は 〃	第 1 2 3	第三紀丘陵凹斜面 平衡斜面 〃		

試験地の立地				植栽 年月
況		土壤		
方位 / 傾斜	標高 m	母材料	土壤型	
N 5	280	摩周系火山噴出物	BD	38.5
〃	380	〃	〃	
S 25	460	安山岩	BD崩積	38.5
〃	465	〃	BD(a)崩積	
W 9	40	摩周系火山噴出物	BD	38.5
E 14	〃	〃	〃	
NW 21	460	安山岩	BD 残積	38.5
〃	420	〃	BE 残積	
E 0~20	60	〃	BE 崩積	38.5
E 23	70	〃	BD(a)残積	
平坦	90	洪積層粘土	BC	38.4
NE 4~6	60	洪積層砂礫	BD(a)	
SE 17	40	火山噴出物	Im	38.4
NE 5~10	120	〃	〃	
S~SE 0~5	180	〃	BD	
E~SE 5~10	250	〃	Im	38.4
〃	325	〃	〃	
平坦	100	綠色凝灰岩 麥朽安山岩	BE	38.4
SW 24	180	新第三紀凝灰質頁岩	BD	
SW 8~15	60	新第三紀追分層頁岩	BD(w)	
SW 3.2	120	〃	BD(a)	38.4
NE 25	60	〃	〃	

担当本支場	地名				林小班	試験地番号	地形
	樹種	管林局	管林署	国有林			
東北支場	アカマツ	青森	岩手	北上山	55 ろ	第1	丘陵凸斜面
					54 い	第2	沢沿
		秋田	米沢	浅俣	27 ほ	第1	丘陵斜面
					27 ろ	第2	丘陵地
	カラマツ	青森	盛岡	小沢山	71 へ	第1	平衡斜面
					"	第2	山頂平坦面
					"	第3	山麓平坦～緩斜面
	コバノヤマハシノキ	青辺地	横沢	第1	278 い	第1	斜面下部
					"	第2	鈍頂峰部
					"	第3	"
		岩手見	国見	542 い	第1	山麓凹部	
				"	第2	" 凸部	
		森吉山	宮古	18 ろ	第1	山腹斜面	
				"	第2	"	
		秋田代	能代	6 は	第1	上昇斜面	
				7 ろ	第2	平坦台地	
		真室川	新林檜木森	73 を	第1	平 坦	
				125 へ	第2	丘陵斜面	

試験地の立地					植栽年月
況		土壤			
方位／傾斜	標高 m	母 材 料	土 壤 型		
N, S 緩斜	480	火 火山拠出物	B ₁ D(1)~BD(4)		38. 4
N 平坦	460	"	B ₁ D		
NE 25~30	400	第三紀層	BC		38. 5
平 坦	"	"	BD		
SW 緩斜	780	火山拠出物	B ₁ D~BD		38. 4
平 坦	820	"	B ₁ D~BD 残積		
"	740	"	B ₁ D~BD 銅行		
"	100~150	洪積層	B ₁ D~E崩積		
S 緩斜	"	"	B ₁ D(d)		39. 4
W 緩斜	"	"	B ₁ D		
平 坦	640	火 山 灰	B ₁ D		38. 4
"	650	"	B ₁ D(1)~BD(1)		
E 緩斜	140~200	花 岩 岩	BD~BE崩積		38. 4
W 緩斜	"	"	BD~BD(d)		
SN 急斜	200~220	第三紀層緑色凝灰岩	BE~BD		38. 5
SE 緩斜	"	"	BD		
E 0~10	100	第三紀層	BC		38. 5
W 30~35	220	"	BD		

担当 本支 場	樹 種	地名		林 小 班	試 験 地 番 号				
		營 林 局	營 林 署			地			
						地形			
本 場	アカマツ コバノヤマハシノキ フサアカシア	前	大田原	猪沢	18 ぬ	第1	凝圈谷状凹形斜面		
					24 へ	第1			
				"	"	第2	準平原状の山頂斜面		
				"	"	第3			
				平	23 ろ	第1	準平原状の凸型斜面		
					"	第2	" 四型斜面		
					33	第3	" 凸型斜面		
		橋	中之条	烏帽子山	74 ほ	第1	尾根性緩斜面		
				"	"	第2	直型急斜面		
				72 た	"	第3	凸型緩斜面		
			新発田	石川山	52 と	第1	山腹		
				加治山	23 へ	第2	丘陵地		
木 曾	カラマツ コハバンノヤマ	東京	沼津	南山	75 わ	第1	熔岩台地面		
				"	"	第2	熔岩台地側面		
				木の根	92 い	第3	扇状地		
			掛川	小笠	57 い	第1	凹型斜面		
			名古屋	岡崎	218 ろ	第1	丘陵斜面		
				輪	"	第2	"		
		長野	岩村田	浅間山	18 い	第1	火山山麓緩斜面		
				"	21 い	第2	"		
			黒姫山	20 ほ	第1	"			
			靈仙寺山	37 か	第2	早壯年期平斜面			

試験地の立地				植栽 年月
況		土壤		
方位／傾斜	標高 m	母材料	土壤型	
NW / 20	350	古生層硬砂岩	BE	39. 4
SE / 5~25	500	岩 崗 岩	BD(d)	
SW / 4	"	"	B&D(d)	38. 3
"	"	"	B&D	
W / 20	"	"	BD(d)	
"	"	"	BD	39. 3
SW / 緩斜	420	"	BD-(BE)	
N / 10	760	火山拠出物	B&D	
NE / 25	"	"	"	38. 4
NE / 13~20	1,000	"	"	
S / 20~30	150	古生層砂岩	B&D	
SE / 25~35	80	古生層高位段丘堆積物	RC.BC~BD(d)	39. 4
S / 緩	1,420	宝永噴出物	IM-BD	
SE / 15	1,400	"	"	38. 4
S / 緩	1,160	"	"	
NW / 30	60	洪積層礫岩	IM-BB	39. 3
W / 15~30	100	古生層	BC~BD(d)-BC	
S / 20~25	140	輝綠凝灰岩	BD~BD(d)	39. 3
SSW / 6~7	1,080	火 山 灰	B&D	
SSW / 6~9	1,160	"	"	38. 4
SSE / 5	1,000	"	BD	
S / 25~30	950	"	BD~BD(d)	39. 4

担当本支場	樹種	地名			林小班	試験地番号	地							
		営林局	営林署	国有林			地形							
関西支場	スミヌギ ^(トミスギ) 1号	山崎	岩上谷	25 は	第1 第2	沢～中腹平衡斜面 中腹～尾根 平衡～上昇斜面	試験地の立地	植栽年月						
							況	土壤						
	アカマツ	福山	寺風呂山	108 IC・ろ	第1 第2	長大山腹斜面下部 長大山腹中腹～尾根								
						方位／傾斜	標高 m							
	フサアカシア	大島	鳥越山	63 IC 1	第1 第2	長大山腹山頂部 長大山腹麓頂部	NE-SW 25~40	720~780	石英粗面岩					
							N~S 30~40	"						
			牛田山	40 と・IC	第1 第2	丘陵斜面沢～斜面上部 丘陵斜面沢～尾根	SW 15~20	580~600	石英斑岩					
							NW~SE 25~30	660~680						
	フサアカシア	岡山	大師谷	1005 ほ	第1 第2 第3 第4	丘陵沢～尾根 " " "	SE 15~28	200	花崗岩					
							S~SE 18~34	100						
	フサアカシア						W~S 16~39	40	Er-BD					
							S 7~29	"						
	フサアカシア	高野山	小野山	69 ろ	第1 第2	長大山腹 斜面上部～下部	W 20	230~250	石英粗面岩					
							E 21~25	"						
	コバノヤマハンノキ	龜山	悟入谷	31 33	第1 第2	平衡斜面 斜面上部～下部	W 17~37	"	Er-BD(d)					
							E 18~33	"						
	フサアカシア	三次	釜ヶ峰	23 ほ	第1 第2	長大山腹斜面沢～中腹 中腹～尾根	W 36	150~	古生層					
							SE 38	180						

試験地の立地			
況		土壤	
方位／傾斜	標高 m	母材料	土壤型
NE-SW 25~40	720~780	石英粗面岩	BD
N~S 30~40	"	"	BD-Er
SW 15~20	580~600	石英斑岩	BD
NW~SE 25~30	660~680	"	BA
SE 15~28	200	花崗岩	Er-BD
S~SE 18~34	100	"	"
W~S 16~39	40	"	"
S 7~29	"	"	Er-BA
W 20	230~250	石英粗面岩	BD(l)-Er
E 21~25	"	"	Er-BD(d)
W 17~37	"	"	"
E 18~33	"	"	"
W 36	150~	古生層	Er-BD(l)
SE 38	180	和泉砂岩	BD(l)-Er
EN 39	"	"	"
N 35	550~600	秩父古生層砂岩	BD(l)
W 38	"	"	BD
ESE 31~36	460~500	石英斑岩	BD~BD(l)
ESE 26~36	"	"	BD(l)~BD(l)

担当 本支 場	樹 種	地名		林 小 班	試 驗 地 番 号	地	
		營 林 局	營 林 署			地	形
四 国 支 場	モリ ンマ	高	西	丸 山	63 ろ		凸型斜面
	フカ サシ アア		条	丸山	"		"
	モシリ マ		長谷山	62 へ			"
	フカ サシ アア		清 水	大 柴 山	30 ろ		

試験地の立地				植栽 年月
況		土壤		
方位／傾斜	標高m	母材料	土壤型	
SW 30~38	80~200	和泉砂岩	BA	38.3
NE 38~40	100~200	"	BB	
NE 36~40	120~210	"	"	
N 28~30	160~270	"	"	
NN-W	120~200	中生層砂岩	BC	
SW	160~260	"	"	
N	160~230	"	BC~BD	

担当本支場	樹種	地名		林小班	試験地番号	地	
		営林局	営林署			地形	
九州支場	スモモギオシ	熊	菊地	深葉	1 ほ	第 1	中腹斜面
	スヤブタクリギリ		玖珠	火燒輪地	36 や	第 2	山麓緩斜面
	スラセバギル		中津	経読岳	30 と	第 1	山麓斜面
	スオビアガカ					第 2	山麓緩斜面
	スバガギイ		日田	畠ケ尻	10 い	第 1	"
	スニギン					第 2	山麓斜面
	モシリマ	本	宮崎	本田野	68 と	第 1	中腹平坦部
	フサシア		飫肥	秋切谷	117 ぬ	第 2	山麓緩斜面
	モシリマ		鹿屋	神野	17 は	第 1	中腹緩斜面
	フカシア					第 1	"
	モシリマ		長崎	安中温泉岳	90 い	第 1	山麓緩斜面
	フカシア				"	第 1	"
	モシリマ		水俣	茂道	4 い	第 1	"
	フカシア		俣	南志水	6 と	第 1	中腹緩斜面
	モシリマ		高岡	楠見	31 い	第 1	山麓斜面
	フカシア				"	第 1	"
	フカシア		川内	三瀧平	15 り	第 1	中腹斜面
	フカシア		鹿児島	山之寺	30 い	第 1	"

試験地の立地				植栽年月
況		土壤		
方位／傾斜	標高 m	母材料	土壤型	
NE / 20~25	700	阿蘇熔岩	BD	38. 4
SW / 10	900	火山灰	B&D	39. 4
N / 20~30	870	安山岩	BD(定積)	38. 4
N / 10	900	"	BD(i)	
W / 5	500	雲母片岩	BD(崩積)	38. 3
W / 15~20	530	"	BD(d)	
N / 5	550	第三紀火山灰	B&D	38. 3
E / 10	600	第三紀砂岩	BD(崩積)	
N / 10	450	花崗岩	BD	38. 3
"	"	"	"	38. 3
S / 15	90	安山岩	BD(d)~BC	39. 3
"	"	"	"	39. 3
NW-SE / 10	30~70	"	BC	38. 3
SE / 10	220	"	"	39. 3
NW / 20	200	中世層火山灰	BD(W)	39. 3
"	"	"	"	39. 3
E / 20	150	安山岩	BC	39. 3
E / 20	350	中世層火山灰	"	39. 3

4. 各試験地の成長経過

(1) スギ

担当 本支 場	担当 営林署	立 地	プロット 符 号	3 2 11. (1年目)		4 0. 11 (2年目)			
				樹 高 cm	伸 長 量 cm	根 元 径 cm	樹 高 cm		
本 クマノ ス	大田原 層 岩 NW/20 BⅣ	古生 硬 砂 岩	A I	4.8~13.8 9.0.9	8~6.3 5.7.9	0.8~2.0 1.5.4	7.8~24.8 15.4.3	3.0~11.0 6.4.6	1.5~4.0 2.5.8
			B I	2.8~13.8 9.1.9	1.3~7.3 4.1.3	0.7~2.2 1.5.2	4.8~25.4 15.8.3	2.0~11.6 6.6.9	1.0~4.3 2.5.4
			A II	4.8~12.8 9.0.7	1.3~6.8 5.7.6	0.9~2.1 1.5.4	7.4~24.0 16.0.1	2.6~11.2 6.9.9	1.3~4.3 2.6.6
			B II	3.8~12.3 8.9.4	1.8~6.8 3.7.7	0.8~1.9 1.5.5	6.6~23.3 16.2.2	2.8~11.0 7.2.8	1.3~3.9 2.6.2
		中腹～尾根 平衡～上昇 斜面 標高720 780m	A I	4.8~13.8 9.0.9	8~6.3 5.7.9	0.8~2.0 1.5.4	7.8~24.8 15.4.3	3.0~11.0 6.4.6	1.5~4.0 2.5.8
			B I	2.8~13.8 9.1.9	1.3~7.3 4.1.3	0.7~2.2 1.5.2	4.8~25.4 15.8.3	2.0~11.6 6.6.9	1.0~4.3 2.5.4
			A II	4.8~12.8 9.0.7	1.3~6.8 5.7.6	0.9~2.1 1.5.4	7.4~24.0 16.0.1	2.6~11.2 6.9.9	1.3~4.3 2.6.6
			B II	3.8~12.3 8.9.4	1.8~6.8 3.7.7	0.8~1.9 1.5.5	6.6~23.3 16.2.2	2.8~11.0 7.2.8	1.3~3.9 2.6.2

担当 本支 場	担当 営林署	立 地	プロ ット 符 号	第1回調査 (3.9.4)		
				樹 高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm
関 西	山崎 トヌ 号	石英粗面岩 沢～中腹平 衡斜面標高 720～ 780m	1 A I	28~81 52	7	0.6～1.2 0.9
			B I	37~80 57	12	0.6～1.2 0.9
			A II	30~83 56	11	0.6～1.2 0.9
			B D	29~78 53	8	0.6～1.2 0.9
		石英粗面岩 中腹～尾根 平衡～上昇 斜面 標高720 780m	2 A I	43~81 61	16	0.7～1.4 1.0
			B I	45~86 62	17	0.7～1.6 1.2
			A II	35~76 58	13	0.7～1.5 1.0
			B D-E r	33~87 60	15	0.6～1.8 1.0

担当 本支 場	担当 當林署	立 地	プロ ット 号	第 1 回 調 査		第 2 回 調 査	
				平均苗高 cm	伸長量 cm	平均樹高 cm	伸長量 cm
九 州	菊 池 クモト オシ	阿蘇熔岩 NE/20~25 標高 700m BD	1	52~75	17~24	116.6~126.7	27.6~31.5
	玖 珠 クモト オシ	火山灰 SW/10 標高 900m BLD	2	71~84	25~40	116.8~141.2	37.6~61.3
	中 津 ヤブク グリ	安山岩 N/20~30 標高 870m BD定積	1	46~50	20~22	97.9~128.0	31.7~39.0
	宮 崎 オ ピ ア カ	安山岩 N/10 標高 900m BD(d)	2	42~51	19~25	96.4~106.4	28.5~35.7
	飫 肥 オ ピ ア カ	第三紀火山灰 E/5 標高 550m BLD崩積	1	47~51	21~26	88~107	18.3~34.7
	鹿 屋 ハライ ガ ワ	第三紀砂岩 E/10 標高 600m BD崩積	2	43~52	19~24	129~143	44.2~51.7
	鹿 屋 キジン	花崗岩 N/10 標高 450m	1			(86.0~105.7)	(20.7~27.2)
	日 田	BD	1			(115~154.9)	(32.4~50.5)
	ウラセ バル	雲母片岩 W/5 標高 500m BD崩積	1	52~63	7~16	96.9~109.7	34.1~29.5
		雲母片岩 W/15~20 標高 500m BD(d)	2	53~55	10~12	85.2~104.8	12.6~21.0

(2) アカマツ

担当 本支 場	担当 當林署	立 地	プロ ット 符 号	39. 11			40. 11		
				樹 高 cm	伸長量 cm	根元直徑 cm	樹 高 cm	伸長量 cm	根元直徑 cm
東 岩 手		火山拠出物 丘陵凸斜面 N.S./緩斜 BLD(1)~ BD(2)	1-A-I	29~94 64	35	0.8~2.0 1.3	56~151 93	29	1.0~3.7 2.4
			1-A-II	22~85 53	26	0.6~1.8 1.1	40~150 88	35	0.9~3.4 1.8
			1-B-I	19~90 58	30	0.4~2.1 1.3	35~157 94	36	0.9~3.4 2.2
			1-B-II	18~78 45	19	0.4~1.9 1.0	33~134 87	42	0.8~2.7 1.8
			2-A-I	32~102 61	32	0.7~2.0 1.3	39~158 99	38	1.0~3.1 1.9
			2-A-II	18~95 57	30	0.6~2.3 1.4	36~158 96	39	1.1~3.3 2.2
			2-B-I	28~105 55	29	0.7~2.8 1.5	55~144 104	49	1.1~4.1 2.4
			2-B-II	25~81 54	28	0.6~2.0 1.3	30~135 86	32	0.7~3.0 2.0

担当本支場	担当當林署	立地	プロット 符 号	39. 11			40. 11		
				樹高cm	伸長量cm	根元直径cm	樹高cm	伸長量cm	根元直径cm
東	第三紀層 丘陵斜面 NE/25~30 Bc	1-A-I 59	29~105	26	0.9~3.3 1.9	39~145 84	25	1.0~4.5 2.7	
			30~106	34	1.0~3.0 1.9	40~148 89	25	1.0~3.5 2.5	
			1-B-I 56	26	0.8~3.6 2.0	26~139 76	20	1.0~3.9 2.3	
			23~105	26	1.0~4.8 1.9	24~164 89	31	1.4~5.7 3.0	
			26~96	25	0.9~3.0 1.8	26~129 62	16	1.0~3.5 1.8	
	第三紀層 丘陵地 平 坦 BD	2-A-II 55	27~95	24	0.9~3.1 1.8	33~148 78	23	1.0~5.0 2.4	
			20~103	22	0.8~3.0 1.7	26~143 70	22	1.0~3.9 2.2	
			21~100	18	0.8~3.3 1.5	31~134 64	16	1.0~3.5 2.0	
			26~96	25	0.9~3.0 1.8	26~129 62	16	1.0~3.5 1.8	
			27~95	24	0.9~3.1 1.8	33~148 78	23	1.0~5.0 2.4	

担当本支場	担当當林署	立地	プロット 符 号	第1回調査(39. 10)		
				樹 高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm
関	石英斑岩 山腹斜面下部 SW/15~20 BD	1 A I 33	18~50	8	0.4~1.3 0.8	
			16~56	8	0.6~1.4 1.0	
			19~49	9	0.6~1.3 0.9	
			18~57	11	0.4~1.5 1.0	
			16~49	5	0.5~1.1 0.8	
	石英斑岩 山腹斜面中腹~尾根 NW~SE/25~30 BA	2 A II 32	18~45	7	0.4~1.5 0.8	
			14~56	8	0.5~1.2 0.9	
			15~50	7	0.4~1.1 0.8	
			16~49	5	0.5~1.1 0.8	
			18~45	7	0.4~1.5 0.8	

担当本支場	担当當林署	立地	プロット 符 号	39. 3			40. 10		
				樹 高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm	樹 高 cm	伸長量 cm	根元直径 cm
本場	花崗岩 SE/5~25 BD(d)	1 A 43.7	24~64				73~193	89.6	3.1~6.1 4.3
			20~62				133.3		
		1 B 44.3					30~178	80.2	2.1~4.9 3.6
							124.5		
							43~156	59.2	1.2~5.8 3.7
	花崗岩 SW/4 BD(d)	2 A I 40.0	29~58				99.2		
			25~58				66~158	70.1	2.1~5.7 3.9
		2 A II 37.9					108.0		
							48~174	66.2	1.5~5.0 3.6
							105.9		
	花崗岩 平 坦 BD	2 B I 39.7	24~62				62~162	71.2	1.6~5.4 3.8
			26~56				110.9		
		2 B II 39.7					46~151	63.0	1.0~4.5 3.3
							104.8		
							56~154	59.5	1.5~5.2 3.2
	花崗岩 平 坦 BD	3 A 41.8	26~60				20~140		61~213 41.1
			26~58				59.0		100.1
		3 B 40.3					20~114		61~190 39.3
							63.0		102.3
							20~172		61~231 54.7

担当本支場	担当當林署	立地	プロット 符 号	39. 11			40. 11		
				樹 高 cm	伸長量 cm	直 径 cm	樹 高 cm	伸長量 cm	直 径 cm
北 海 道	標茶	摩周系火山噴出物 W/9 標高40m	A	20~140			61~213		
				18.4			41.1		
			B	59.0			100.1		
				21.1			61~190		
				63.0			102.3		
	E/14	A	20~172				61~231		
			B	30.5			54.7		
				84.0			138.7		
				20~164			61~201		
				25.1			47.5		
	BD		B	67.9			115.4		

担当 本支場	担当 當林署	立地	プロット 符號	3 9 • 1 1			4 0 • 1 1		
				樹高 cm	伸長量 cm	直徑 cm	樹高 cm	伸長量 cm	直徑 cm
北 清里	摩周系火山噴出物 山麓台地 標高 280 m N/5 B _D	A	1.3~1.37	3.22			7.2~200	2.51	
			91.8				1.16.9		
		B	2.0~1.67	3.37			6.4~196	2.7.9	
	" " N/5 標高 380 m S/25 B _D 崩積	A	9.79				12.5.8		
		A	2.8~1.82	5.23			6.6~220	2.4.8	
		B	1.20.1				1.44.9		
		B	5.9~1.85	5.10			7.9~228		
上海 上川	安山岩 山麓中腹急斜面 B _D 崩積	A	1.19.2				15.8.2	3.9.0	
		A	8.8~220	6.8.7			6.5~296	2.8.7	
		A	1.60.1				1.88.9		
		B	1.04~216	6.8.0			11.3~235	3.3.3	

道 清水	NW/21 B _D 残積	"	A 2	1 1 0 ~ 2 0 2		6 4 ~ 2 8 2		3 6 . 4	
				1 5 5 . 0	6 . 8 4	1 0 0 ~ 2 1 5	6 . 7 4	7 2 ~ 2 8 0	1 9 1 . 3
道 清水	安山岩 NW/21 B _D 残積	"	A 1	3.2~1.38	4.87			7.0~214	4.4.4
		"	A 1	91.8				13.6.2	
		"	B 1	4.9~1.30	4.84			7.3~210	4.4.6
		"	B 1	9.0.8				13.5.4	
道 清水	B _E 残積	"	A 2	4.5~1.67	5.0.1			6.5~249	4.3.8
		"	A 2	93.0				13.6.8	
		"	B 2	3.0~1.52	4.9.0			6.5~205	3.9.6

担当本支場	立地	プロット符	樹高cm	伸長量cm	根元直徑cm	3 9 • 1 0		4 0 • 1 0	
						樹高cm	伸長量cm	樹高cm	伸長量cm
東	盛岡	火山抛出物SW/緩斜	1-A-I 52~150 99	37	1.0~3.5 1.9	7.0~218 14.6	4.7	1.7~4.6 2.9	
		標高780m $B\ell_D \sim B_D$	1-A-II 56~120 84	25	1.1~3.0 1.8	6.6~182 11.5	3.1	1.3~3.7 2.5	
		"	1-B-I 52~134 83	19	1.0~3.2 2.0	5.8~166 10.8	2.5	1.5~4.0 2.6	
		"	1-B-II 54~148 92	27	1.1~3.5 2.0	6.8~204 12.4	3.2	1.4~4.5 2.7	
		平坦	2-A-I 56~146 105	41	1.2~2.8 2.0	6.6~182 12.5	2.0	1.6~4.0 2.6	
		標高820m $B\ell_D \sim B_D$ 残積	2-A-II 54~136 95	33	1.1~2.6 1.9	7.6~174 12.6	3.1	1.3~4.0 2.7	
		"	2-B-I 66~144 93	30	1.0~2.5 1.8	8.4~164 12.4	3.0	1.0~4.4 2.6	
		"	2-B-II 46~134 89	35	1.1~2.5 1.9	7.8~166 12.0	3.0	1.5~3.7 2.5	
		平坦	3-A-I 60~164 98	29	1.1~2.6 1.9	6.4~228 13.3	3.6	1.3~4.2 2.7	
		標高740m $B\ell_D \sim B_D$ 飼行	3-B-I 58~123 87	20	1.2~3.2 2.0	6.4~178 12.0	3.2	1.6~3.9 2.7	

担当本支場	立地	プロット符	樹高cm	伸長量cm	根元直徑cm	3 8 • 1 1		4 0 • 9	
						樹高cm	伸長量cm	樹高cm	伸長量cm
木	岩村田	火山灰SSW/6~7	1 A I 47~101 70.3	7~5.6 27.2	0.6~1.5 1.1	6.8~273 16.3.9	10~98 5.5.5	0.8~3.5 2.2	
		標高1080m $B\ell_D$	1 A II 45~95 6.8.1	5~5.4 25.0	0.7~1.4 1.0	7.5~243 16.3.9	4~104 5.8.8	1.2~3.3 2.1	
		"	1 B I 45~98 73.6	9~6.0 28.5	0.7~1.4 1.1	10.0~265 17.9.5	7~116 6.4.1	1.2~4.0 2.3	
		"	1 B II 47~97 6.6.6	6~4.6 22.1	0.7~1.5 1.0	4.5~281 18.8.7	8~122 7.7.2	1.1~4.0 2.4	
		"	2 A I 2 A II			1.8~87 5.4.9	6~47 22.9	0.2~1.2 0.8	
		標高1160m $B\ell_D$	2 B I 2 B II			1.6~76 5.2.0	2~43 21.9	0.3~1.3 0.8	
		"				2.3~87 5.6.2	5~55 24.8	0.5~1.4 0.9	
		"				2.6~81 5.7.0	4~50 26.0	0.4~1.2 0.8	
		"							

(4) コバノヤマハシノキ

担当本支場	担当官署	立地	プロット符	3 9 • 1 1			4 0 • 1 1		
				樹高cm	伸長量cm	直徑cm	樹高cm	伸長量cm	直徑cm
北	留萌	安山岩 河岸段丘 E/0~20 標高60m B _E 崩積	A	1.20~384	158.2		1.50~500	97.5	0.4~5.6
			B	2.64.2			361.8		3.3
		" " /23 標高70m B _D (a) 残積		6.0~380	154.2		1.50~510	104.1	0.9~6.3
			B	257.6			361.7		3.4
			A	6.5~350	153.5		2.00~490	111.0	0.8~6.0
	海賀	火山噴出物 新第三紀丘陵 SE/17 標高40m I _m	A	257.2			368.1		3.4
			B	7.0~390	153.6		2.00~510	117.2	1.0~6.0
		" " /23 標高70m B _D (a) 残積		260.9			378.1		3.5
			A	1.50~460	185.1		2.00~600	146.5	2.0~7.0
			B	3.40.4			487.0		4.7
		火山噴出物 新第三紀丘陵 SE/17 標高40m I _m		1.80~470	205.0		2.40~660	171.5	2.0~7.0
			B	368.3			539.8		5.3

道札幌	#	A	180~450		260~600	145.8	2.0~6.5
			328.4	179.3			
道札幌	洪積台地 NE/5~10	2	1.65~460		474.2		4.5
	標高120m	B	353.8	201.8	240~630	167.3	2.5~7.0
	I _m				521.1		5.1
	洪積層粘土	A	1.03~268	117.6	170~400	98.4	1.0~3.5
	洪積台地 平垣	1	206.3		304.7		2.6
	標高90m	B	1.18~288	121.7	190~410	91.7	1.0~4.0
	B _C		212.8		304.5		2.6
	洪積層砂礫	A	1.25~320	129.1	190~450	54.3	1.0~6.0
	NE/4~6	2	243.3		297.6		2.6
	標高60m	B _D (a)	1.22~348	134.2	200~460	75.2	1.0~6.0
	B _D		240.4		315.6		2.6

担当 本支場	担当 當官署	立地	プロット 符號	3 9 • 1 1			4 0 • 1 1		
				樹高 cm	伸長量 cm	直徑 cm	樹高 cm	伸長量 cm	直徑 cm
北 八 雲 海	新第三紀凝灰質 頁岩 丘陵斜面 SW/24 標高 180 m B _D	1 標高 100 m B _E	A	100~380 226.7	9.24		150~490 331.5	104.9	0.5~6.0 3.5
			B	70~370 234.9	10.23		160~510 361.3	126.5	0.5~6.0 3.3
		2 標高 180 m B _D	A	105~350 242.6	120.6		150~460 352.2	109.6	0.5~6.0 3.8
			B	100~380 255.6	128.7		180~530 379.4	123.9	1.0~6.5 3.8
	火山噴出物 S~SE/0~5 標高 180 m B _D	A	100~370 257.8	128.9		130~440 340.7	82.9	1.0~5.0 3.2	
			B	100~390 280.2	140.9		200~500 377.8	97.5	1.0~5.0 3.7

新第三紀丘陵 E~SE/5~10 標高 250 m I _m	"	A	1 0 0 ~ 3 3 0		1 0 2 . 9	1 8 0 ~ 4 7 0		1 2 5 . 1	1 . 0 ~ 5 . 0	
			216.8	342.0		342.0	3.0			
老 道	I _m	B	100~310 224.5	111.5		230~490 356.3	131.7	1.0~6.0 3.2	0.5~5.0 2.7	
		A	50~330 189.8	70.7		140~490 318.6	128.8	0.5~5.0 2.7		
	I _m	B	50~380 209.2	85.7		150~470 345.1	135.9	0.5~6.0 3.0		
		C								

担当本支場	担当當林署	立地	プロダクト符号	3 9 • 1 1			4 0 • 1 1		
				樹高cm	伸長量cm	直徑cm	樹高cm	伸長量cm	直徑cm
北	新第三紀追分層 頁岩 SW/8~15 標高60m BD(W)	A	110~360	167.6			140~500	74.0	0.5~5.0
			276.6				350.6		2.6
		B	70~410	171.8			140~620	88.4	0.5~5.0
			277.7				366.2		2.8
			130~410	161.8			210~530		0.5~5.0
	木古内 標高120m BD(a)	A	276.2				389.7	113.5	2.7
			130~400	169.1			190~550		0.5~6.0
		B	280.2				425.2	145.0	3.2
			140~370	132.7			150~540	99.4	0.5~5.0
			255.0				354.4		2.4
海道	NE/25 標高60m BD(d)	A	130~410	153.3			180~540	82.4	0.5~6.0
			275.7				358.0		2.7
			140~370	132.7			150~540	99.4	0.5~5.0
		B	280.2				425.2	145.0	3.2
			140~370	132.7			150~540	99.4	0.5~5.0

東	東	洪積層 斜面下部 平坦 標高100~130m BD-E 崩積	1-A-I	110~380	1.0~6.0	20~490	10.1	2.2~9.2
			251		3.3	352		5.3
北	北	S/緩斜 鈍頂峰部 野辺地 BD(d)	1-A-II	60~360	1.0~6.5	100~510	6.0	1.3~9.0
			219		2.7	279		3.8
北	北	W/緩斜 BD	1-B-I	90~330	1.0~6.1	190~410	9.0	1.6~8.9
			228		2.7	318		4.2
北	北	W/緩斜 BD	1-B-II	80~320	0.8~7.0	90~400	7.1	0.8~9.7
			235		2.9	306		4.0
北	北	W/緩斜 BD	2-A-I	100~370	1.0~7.0	40~450	-10	1.6~8.3
			241		3.2	231		3.8
北	北	W/緩斜 BD	2-A-II	90~290	1.0~5.1	120~320	1.6	1.8~5.6
			206		2.8	222		3.5
北	北	W/緩斜 BD	2-B-I	130~300	1.1~6.0	140~400	5	1.3~7.8
			221		2.7	226		3.5
北	北	W/緩斜 BD	2-B-II	100~300	1.0~6.0	150~400	-2	0.7~6.8
			226		2.8	224		3.1
北	北	W/緩斜 BD	3-A-I	100~360	1.1~6.1	140~380	1	1.3~7.4
			237		3.2	238		3.9
北	北	W/緩斜 BD	3-B-I	70~360	0.7~7.0	100~480	1.6	0.8~7.2
			236		2.9	252		3.5

担当本支場	担当當林署	立地	プロット符	3 9 • 1 1			4 0 • 1 1		
				樹高cm	伸長量cm	根元直徑cm	樹高cm	伸長量cm	根元直徑cm
東	手岩	山麓凹部 平坦 標高640m $B\ell_D$ $B\ell_D(d) \sim BD(d)$	1-A-I	80~340 194	54~194 91	0.6~6.8 2.7	210~480 340	14.6	3.0~1.00 5.8
			1-A-II	130~330 229	120~208 131	1.5~7.5 3.4	1.40~410 280	5.1	1.9~8.4 4.6
			1-B-I	80~370 216	55~240 110	0.8~7.9 3.1	240~500 34.5	12.9	2.7~8.9 5.3
			1-B-II	90~530 221	80~450 123	0.9~6.6 3.5	120~470 33.4	11.3	1.0~9.7 5.4
			2-A-I	60~285 176	41~169 124	1.0~5.5 2.8	180~370 23.3	5.7	2.4~7.8 4.7
			2-A-II	37~288 167	22~140 64	0.8~5.9 2.6	90~400 25.8	9.1	1.6~7.9 4.3
			2-B-I	40~320 205	33~207 110	1.3~6.0 3.0	200~470 32.1	11.6	3.2~7.9 5.3
			2-B-II	80~314 203	62~209 127	0.8~6.8 3.0	80~420 29.7	9.4	1.4~8.3 5.1
			"						

古宮北	花崗岩 E/緩斜 標高140~200m $BD \sim BE$ 崩積	1-A-I 40~270 154	30~280 154	5.3	0.6~4.8 2.1	170~420 27.9	12.5	0.8~5.7 3.8
			1-A-II 50~350 158	5.8	0.6~4.1 2.0	130~450 28.3	12.9	1.2~6.5 3.8
"	花崗岩 W/緩斜 "	1-B-I 60~290 158	30~280 134	5.3 5.5	0.6~4.4 2.1	120~440 27.5	11.7	1.1~6.6 3.6
			1-B-II 50~270 154	5.8	0.6~4.4 2.1	140~450 27.8	12.0	1.3~5.3 3.4
"	花崗岩 W/緩斜 "	2-A-I 30~280 136	50~250 154	5.5 5.7	0.5~5.2 1.9	120~470 27.2	13.8	1.4~8.5 3.6
			2-A-II 40~280 157	5.2 4.9	0.7~4.2 2.4	130~410 25.4	10.0	1.0~6.2 3.9
BD ~ B_D (d)	花崗岩 W/緩斜 "	2-B-I 40~280 157	52 4.9	6.6~4.4 2.1	140~380 25.4	11.8	1.2~5.7 3.4	
			2-B-II 40~280 157	5.2 4.9	0.6~4.6 2.4	120~500 29.8	14.1	1.5~7.1 4.0

担当 本支場	担当 官林署	立地	プロット 号	3 9 • 1 1			4 0 • 1 1		
				樹高 cm	伸長量 cm	胸高直徑 cm	樹高 cm	伸長量 cm	胸高直徑 cm
東能代	第三紀層 綠色凝灰岩 上昇斜面 SN/急斜 標高200m BE~BD	1-A-I	140~270 190	130	0.5~1.8 0.9	250~420 330	140	1.4~3.5 2.6	
			190~290 230	160	0.5~1.6 1.1	300~450 370	140	1.8~4.2 3.1	
		1-B-I	190~330 250	190	0.8~1.9 1.3	240~460 350	100	1.5~4.5 2.9	
			150~330 240	160	0.5~2.0 1.2	280~470 370	130	1.6~4.2 3.0	
		2-A-I	260~450 360	200	1.3~3.5 2.7	390~640 530	170	3.0~7.0 5.4	
			270~400 330	190	1.2~3.4 2.3	380~620 510	180	3.2~7.0 5.1	
		2-B-I	280~460 370	210	1.9~4.4 2.8	380~630 520	150	2.8~7.2 5.0	
			280~470 380	210	1.2~4.0 2.1	350~650 530	150	2.3~6.5 4.8	
		2-B-II	280~470 380	210	1.2~4.0 2.1	350~650 530	150	2.3~6.5 4.8	
			"						

E/0~10	標高100m	B.C	真室川北	第三紀層		2 0 0 ~ 4 7 0		0.8 ~ 4.7		3 3 0 ~ 6 0 0		2.0 ~ 6.9	
				1-A-I	1-A-II	245	3.1	479	86	4.8	4.8	4.8	4.8
				140~440 330	204	0.4~4.1 2.3	220~670 470	140	1.2~6.7 4.3				
				200~450 308	162	0.7~4.2 2.5	320~530 460	152	2.8~7.0 5.0				
				120~450 287	161	0~3.8 2.2	175~550 422	135	1.8~6.8 4.3				
				105~455 367	207	0~4.6 3.0	380~650 522	155	2.8~7.0 5.4				
				125~430 335	204	0~7.7 2.6	200~650 451	116	1.0~6.0 4.1				
				230~420 332	173	0.8~4.1 2.7	320~620 459	127	3.3~7.4 5.0				
				120~420 313	164	0~3.8 2.4	180~620 440	127	1.4~7.2 4.4				
				"									

担当 本支場	担当 當營署	立 地	プロット 符 号	3 9 . 1 0			4 0 . 9		
				生存率 %	樹 高 cm	伸長量 cm	直 徑 cm	生存率 %	樹 高 cm
		宝永噴出物	1 A I	86	$\frac{30\sim195}{102}$	25	1.2	57	$\frac{40\sim170}{116}$

本		沼津		場	
熔岩台地面 S／緩					
標高 1420m I m-B D	A II	85	$\frac{45\sim170}{108}$	27	1.5
	B I	82	$\frac{50\sim180}{105}$	28	1.4
	B II	77	$\frac{50\sim135}{94}$	25	1.2
"	2 A I	81	$\frac{20\sim195}{117}$	41	1.3
熔岩台地側面 S E / 15	A II	88	$\frac{30\sim225}{113}$	43	1.6
標高 1400m I m-B D	B I	88	$\frac{40\sim180}{119}$	37	1.5
	B II	85	$\frac{45\sim205}{116}$	38	1.7
"	3 A I	86	$\frac{20\sim175}{99}$	27	1.1
扇状地 S／緩	A II	92	$\frac{20\sim200}{93}$	22	1.1
標高 1160m I m-B D	B I	76	$\frac{30\sim145}{91}$	26	0.9
	B II	82	$\frac{20\sim195}{91}$	27	0.9

担当 本支場	担当 當管署	立 地	プロット 符 号	3 9. 1 1			4 0. 1 1				
				樹 高 cm	伸長量 cm	直 徑 cm	生存率 %	樹 高 cm	伸長量 cm	直 徑 cm	生存率 %
本 中之条	火山 尾根性緩斜面 N／10	760m BℓD	1 A I	130~470 351	122	0.2~5.6 3.3	92.7	200~710 520	16.9	1.1~8.1 5.4	60.0
			A II	110~490 346	115	0.2~5.5 3.4	90.5	200~620 440	9.4	1.2~8.1 4.7	39.0
		直型急斜面 NE／25	1 B I	120~480 359	139	0.2~5.9 3.2	75.0	200~734 550	19.1	0.7~7.9 5.2	56.1
			B II	200~520 403	161	1.0~5.4 3.8	84.6	190~800 580	17.7	1.1~8.0 5.6	44.6
			2 A I	120~450 345	120	0.2~5.3 3.3	89.1	180~620 440	9.5	0.8~7.6 4.8	68.2
	凸型緩斜面 NE／13~20	760m BℓD	A II	140~440 330	104	0.6~5.1 2.8	90.9	200~590 410	8.0	0.6~7.0 3.9	68.3
			2 B I	120~500 381	148	0.4~4.9 3.4	93.3	170~700 490	10.9	0.6~7.3 4.5	70.0
		" " " "	B II	220~560 406	175	1.1~5.7 3.5	85.0	160~700 540	13.4	1.2~6.9 4.9	68.2
			3 A I	110~370 233	54	0.3~3.9 1.6	86.1	180~510 310	7.3	0.8~6.4 2.9	67.5
			A II	120~380 269	80	0.2~3.9 2.3	70.0	130~550 350	8.1	0.7~5.5 3.6	51.8

- 42 -

標高 BℓD	1000m	3 B I	3 9. 1 0			4 0. 1 0				
			樹 高 cm	伸長量 cm	直 徑 cm	樹 高 cm	伸長量 cm	直 徑 cm		
新堺 場	古生層 砂岩 S／20~30	B II	120~400 255	87	0.2~4.3 1.9	59.3	150~530 350	9.5	0.7~6.6 3.5	54.7
		1 A I	100~310 240	120	1.1~5.0 3.5	79.2	200~480 382	14.2	1.2~5.5 3.9	97.3
		1 A II	50~330 243	123	1.6~4.2 3.2	78.7	210~560 405	16.2	1.8~5.5 3.9	99.1
		1 B I	110~360 256	126	1.8~4.3 3.1	81.5	200~500 400	14.4	1.2~5.8 4.0	97.8
		1 B II	70~330 243	123	1.9~4.3 3.3	78.5	200~490 395	15.2	1.2~6.0 3.8	97.8
	古生層 高位丘陵地 SE／25~35 標高 80m Rc·Bc~B _D (d)	2 A I	110~340 233	113	1.4~4.6 3.3	97.3	240~520 440	20.7	1.2~5.0 3.8	100
		2 A II	70~310 245	125	2.0~4.4 3.0	96.7	220~510 422	17.7	1.6~4.9 3.6	100
		2 B I	140~320 237	117	1.6~4.5 3.0	94.3	180~500 399	16.2	1.1~4.6 3.3	98.3
		2 B II	60~320 236	116	1.4~4.2 2.8	85.5	160~500 366	13.0	0.6~5.1 3.0	96.9

- 43 -

担当 本支場	担当 當林署	立 地	プロット 符 号	第1回調査 (39.1.2)		
				樹 高 cm	伸長量 cm	根元直徑 cm
		古生層砂岩 N/35	1A I	1 0 6~2 4 7 1 9 3	1 6 3	1.5~3.9 2.7
		標高 550~600m B D (d)	1B I	1 0 0~2 8 0 1 9 2	1 6 2	1.3~3.6 2.5
龜山		" W/38	2A I	1 1 2~2 8 4 1 9 0	1 6 0	1.6~4.1 2.8
		標高 550~600m B D	2B I	7 0~2 6 3 1 9 3	1 6 3	1.6~3.7 2.6
		石英斑岩 山腹斜面 沢~中腹 E S E / 31~36	1A I	5 6~2 2 8 1 6 0	1 3 0	1.0~4.0 2.6
			B I	7 7~2 2 5 1 5 3	1 2 3	1.0~3.6 2.4

三次 西	標高 460~500m B D~B ℓ D	A II	7 5~2 1 6	1 3 3	1.3~4.0
			1 6 3		2.6
		B II	1 0 2~2 2 5 1 0 8	7 8	2.1~4.4 2.8
		2A I	8 5~2 6 7 1 8 0	1 5 0	1.2~4.9 3.2
		B I	1 1 0~2 6 8 1 9 8	1 6 8	1.9~4.3 3.1
	" 中腹一尾根 E S E / 26~36	A II	9 0~2 4 5 1 8 3	1 5 3	1.5~4.0 2.9
	" B D(d)~B ℓ D(d)	B II	7 5~2 9 5 2 1 3	1 8 3	1.4~4.5 3.3

(5) フサアカシア

担当 本支場	担当 當林署	立 地	プロット 符 号	3 9. 1 0			4 0. 1 0		
				樹 高 <i>cm</i>	伸長量 <i>cm</i>	根元径 <i>cm</i>	樹 高 <i>cm</i>	伸長量 <i>cm</i>	根元径 <i>cm</i>
本 場	掛 川	洪積層 礫岩 NW / 3 0 Im-BB	A	80~325 196	1.0~4.4 2.6	2.00~6.00 4.43	24.9	3.2~10.5 7.1	1.0~7.0 4.4
			B	100~330 197	1.0~3.5 2.4	21.0~6.50 4.40	24.3	2.4~10.3 6.2	0.9~7.1 4.0
		古生層 輝綠凝灰岩 W / 15~30		7.0~26.0 15.7 (16.3)	0.9~3.2 1.9 (1.9)	8.0~55.0 31.9 (34.1)	16.7 (17.9)	1.5~8.1 4.4 (4.5)	2.9 8.0
	岡 崎	標高 100m Bc~BD(d) -Bc	1 A	45~305 12.3 (14.9)	0.5~3.4 1.8 (2.0)	1.00~6.20 3.05 (3.34)	17.8 (19.8)	1.1~9.0 4.4 (4.9)	3.0 6.1
			1 B	7.5~28.0 15.3 (15.9)	0.9~3.4 2.1 (2.1)	7.5~52.0 29.6 (32.9)	16.1 (17.6)	0.9~9.8 4.9 (5.4)	3.2 7.9
		" S / 20-25	2 A	7.5~28.0 15.3 (15.9)	0.9~3.4 2.1 (2.1)	7.5~52.0 29.6 (32.9)	16.1 (17.6)	0.9~9.8 4.9 (5.4)	3.2 7.9
	標高 140m BD~BD(d)	2 B	6.0~27.0 15.3 (16.4)	0.4~3.9 2.2 (2.3)	9.0~54.0 3.42 (35.1)	19.1 (19.6)	0.7~9.8 5.7 (5.8)	3.4 8.4	3.4 8.4

備考 () 内は 100 cm 以下を除外したもの

() 内は 15.0 cm 以下を除外したもの

担当 本支場	担当 當林署	立 地	プロット 符 合	第 1 回 調査 (4 0. 2)			第 2 回 調査 (4 0. 1 2)		
				樹 高 <i>cm</i>	伸長量 <i>cm</i>	根元直徑 <i>cm</i>	樹 高 <i>cm</i>	伸長量 <i>cm</i>	根元直徑 <i>cm</i>
関 高 野	古 生 層	B I	1 A I	3.0~22.0 12.0	9.0	0.5~2.5 1.5	15.0~49.0 31.0	1.9 0	1.3~7.4 3.9
		B II		3.5~24.0 11.9	8.9	0.3~2.5 1.5	14.0~55.0 29.9	1.8 0	1.4~6.9 4.1
	和 泉 砂 岩 E r - BD(d)	A II							
				3.0~23.0 12.1	9.1	0.5~2.5 1.3	14.0~46.0 28.8	1.6 7	1.2~6.2 3.6
		B II		4.0~22.0 11.8	8.8	0.9~2.6 1.5	14.0~46.0 26.3	1.4 5	1.1~6.0 3.4

担当 本支場	立地	プロット 符號	第1回(39.3)			第2回(40.2)			第3回(40.12)		
			樹高 cm	伸長量 cm	直徑 (地上50cm) cm	樹高 cm	伸長量 cm	胸高 cm	樹高 cm	伸長量 cm	胸高 cm
四 国 西 条	和泉砂岩 NE/36~40 標高120~ 210m BB	1 A	40~220 160	130	0.2~2.4 1.4	120~520 330	170	1~5 2.7	100~790 440	110	0~7 3.9
		1 B	20~240 160	130	0.1~2.3 1.3	170~570 390	230	1~5 3.0	150~860 510	120	0~8 4.2
		" 2 A	10~300 180	150	0.3~3.2 1.7	70~620 400	220	0~6 3.2	120~800 510	110	0~8 5.1
		2 B	20~340 190	160	1.3~2.7 1.7	120~720 410	220	0~6 3.4	240~890 570	160	1~9 5.0
	安山岩 S/15 標高90m BD(d)-Bc										
九 長 崎	中世層 火山灰 NW/20 標高200m BD(W)	1	127~136					221~310			
		1									

川 内	安山岩 E/20 標高150m BC	1	146~176				
州	中世層 火山灰 E/20 標高350m BC	1	128~169			327~380	
	安山岩 SE/10 標高220m BC	1				270~360	

(6) モリシマアカシア

担当本支場	担当當林署	立地	プロット符	第1回(39.3)			第2回(40.2)			第3回(40.12)		
				樹高cm	伸長量cm	直徑(地上50cm)cm	樹高cm	伸長量cm	胸高直徑cm	樹高cm	伸長量cm	胸高直徑cm
四 西 条 国 九	和泉砂岩 SW/30~38 標高80~200m	1 A	60~300 180	15.0	0.2~2.7 1.4	22.0~67.0 42.0	24.0	1~7 4.2	12.0~80.0 59.0	17.0	0~9 6.8	
		1 B BA	40~340 180	15.0	0.4~3.0 1.6	12.0~62.0 41.0	23.0	1~7 3.9	25.0~84.0 58.0	17.0	1~10 5.9	
	NE/38~40 標高100~ 200m	2 A	20~280 170	14.0	0.3~2.4 1.4	22.0~57.0 39.0	22.0	1~6 3.6	16.0~66.0 45.0	6.0	1~8 4.6	
		2 B BB	40~300 180	15.0	0.4~2.5 1.6	22.0~57.0 42.0	24.0	1~6 3.7	13.0~78.0 51.0	9.0	0~8 4.7	
水 保	安山岩 NW~SE/10 標高30~70m BC			1	15.5~21.9							
長 崎	安山岩 S/1.5 標高9.0m BD(d)~BC			1	14.0~18.2			35.2~46.2				

備考

プロット符号 1, 2, 3,

立地別

I, II くりかえし

A, B 植栽密度(疎, 密)

	A 本/ha	B 木/ha
スギ	2,500	5,000
アカマツ	3,000	6,000
カラマツ	2,000	4,000
アカシア類	2,000	4,000
コバノヤマハシノキ	1,500	3,000

樹高直徑の欄 : 最低値～最高値
平均値

州 高岡	中世層 火山灰 NW/20 標高200m BD(W)	1			29.0~40.0	
---------	--	---	--	--	-----------	--